

2026年3月4日

富士吉田市長から感謝状を受領

—今年も企業版ふるさと納税に寄付—

新しいおもてなしの感動を創造するFSX株式会社（東京都：国立市 代表取締役社長：藤波克之、以下略：FSX）はこのたび、堀内富士吉田市長を表敬訪問し、富士吉田市役所にて行われた贈呈式において感謝状をいただきました。

この度の表彰は、企業版ふるさと納税を活用した富士吉田市が行う「富士山の麓のマチ 中心市街地活性化事業」への寄付に対するものとなります。富士吉田市の本町通りには、1,000年以上続く織物の名産地として、以前は繊維関係の会社が6000社もあったと聞いています。時代の流れとともに、一時はシャッター通りとも呼ばれるほど機織産業が衰退する中、機屋を継いだ2代目、3代目の職人たちが立ち上がり、新しい時代の機織り町として「技術とデザイン」を発信していく挑戦に、大変感銘を受けています。FSXの生業は、タオル生地を使ったレンタルおしぼり業です。斜陽産業に抗うように挑戦し、糸1本を紡いできた歴史は、FSXにも繋がるものだと考えています。

人や社会、自然とともに生きる「共生」を企業スタンスに掲げるFSXは、FSXが織りなす事業や取り組みが、地域に根差し、社会に役立てる存在でありたいと願っています。FSXはこれからも、富士吉田市が行う活動の応援を通じて、来訪者や居住者にとって魅力あるまちづくりを後押しできるよう取り組んでまいります。

堀内富士吉田市長コメント

地域振興推進のため多額の寄付をされ、常日頃より、富士吉田市のまちづくりに関して、多大なご理解ご協力を賜っていることに感謝申し上げます。

本町通りから北口本宮、浅間神社へと続く富士道を中心とした市街地の活性化は、富士吉田市の歴史と未来を繋ぐ最重要施策の一つであり、その挑戦を継続して支えていただいていることは大きな励みであり、心強く思っています。

FSXが掲げる「新しいおもてなしを創造し、世界中に笑顔届ける」理念は、富士吉田市が観光や地域振興を通じて実現したい姿そのものであり、単なる支援の枠を超えて、志を同じくするパートナーとして、これからも共に歩んでいただけることに深く感謝申し上げます。



左から
FSX 秋葉専務・堀内富士吉田市長・FSX 藤波社長・FSX 富士犬塚社長